

「デジタルなまず」の発展から

究極の進化へ



緊急地震速報 受信装置



- 01 ハイブリッド配信・PLUM法 **ハイブリッド配信、PLUM法(プラム法)に対応**
- 02 信頼の証 **圧倒的導入実績、配信サーバーに接続する受信端末を制限、無事故、配信実績100%**
- 03 津波警報 **気象庁津波予報区(全国の湾岸を66区域に分割)による大津波警報・津波警報の発報が可能**
- 04 ピンポイント情報 **設置場所の緯度経度・地盤増幅率からピンポイントで予測震度・猶予時間をお知らせ**
- 05 予報から警報へ切替発報 **予報が警報に変更された場合、「警報」として緊急地震速報を再発報**
- 06 緊急地震速報の精度を選択 **緊急地震速報の精度を4種類から選択して、本体の発報基準を決定**
- 07 異なる震度で機器制御 **放送設備・自動ドア・エレベータ・回転灯などを制御する震度を個別に設定**
- 08 冒頭音・警報音声の変更 **警報の冒頭音・警報メッセージの変更、外国語放送にも対応**
- 09 頭切れ対策・自動復旧 **放送設備の立ち上り時間に応じて警報放送を開始、終了後に放送設備を自動復旧**
- 10 カウントダウン終了後のアナウンス **揺れている間は、別の注意アナウンスを放送することが可能**
- 11 発報禁止時間の設定・時報機能 **発報を禁止する時間帯を設定、時報機能で本体と外部機器との連動を確認**
- 12 ネットワーク対応機器を制御 **ネットワークを利用してパライトなどの機器制御が可能**
- 13 放送設備の接続支援機能 **ミキサー機能・プリアンプ機能、通常放送から警報音声への自動切替機能**
- 14 プロキシ接続 **プロキシサーバー経由で既設LANに接続することで大幅コストダウン、新規回線不要**
- 15 受信履歴・発報履歴 **緊急地震速報の受信履歴、発報履歴を過去1年間をエクセル形式でレポート出力**
- 16 防災訓練・試験放送 **本体のボタン操作で、いつでも防災訓練・試験放送の実施が可能**
- 17 通信セキュリティの強化 **緊急地震速報の配信データはSSLで暗号化しVPN接続で受信**
- 18 ラック収納 **19インチ放送ラックに収納することで、耐震性・メンテナンス性を向上(オプション)**
- 19 通信状態保守 **通信障害が発生した場合、10分後にメール連絡、15分後に電話連絡**
- 20 本体動作保守 **センターサーバーが機器内部を巡回監視、本体装置の内部動作状態を確認**
- 21 本体修理保守 **ご導入から1年間、本体を無償で修理、常に安心をご提供**
- 22 代替機保守 **機器に障害が確認された場合には、無償で代替機を先出にて送付、さらなる安心を**
- 23 アップデート保守 **常に最新の技術で本体が安定稼動するように、最新機能を無償でバージョンアップ**
- 24 デジタルもぐらと連動 **インターネット回線が遮断されても「デジタルもぐら」が警報を発報(オプション)**
- 25 PC・サイネージへ割込表示 **PC・サイネージへ緊急地震速報・津波警報を割込表示(オプション)**
- 26 気象庁ガイドライン準拠 **気象庁「受信端末の機能及び配信能力に関するガイドライン」に準拠**

お問合せは

Jコーポレーション 検索

緊急地震速報のリーディングカンパニー



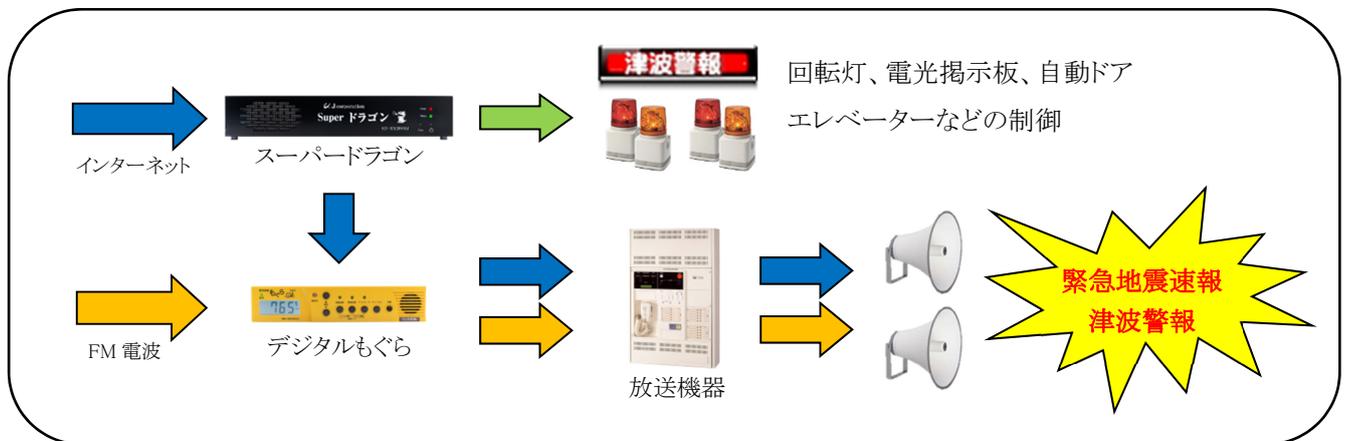
株式会社 Jコーポレーション
総合窓口 TEL 0742-53-7833

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F
https://www.jcorp.co.jp fax 0742-53-7795

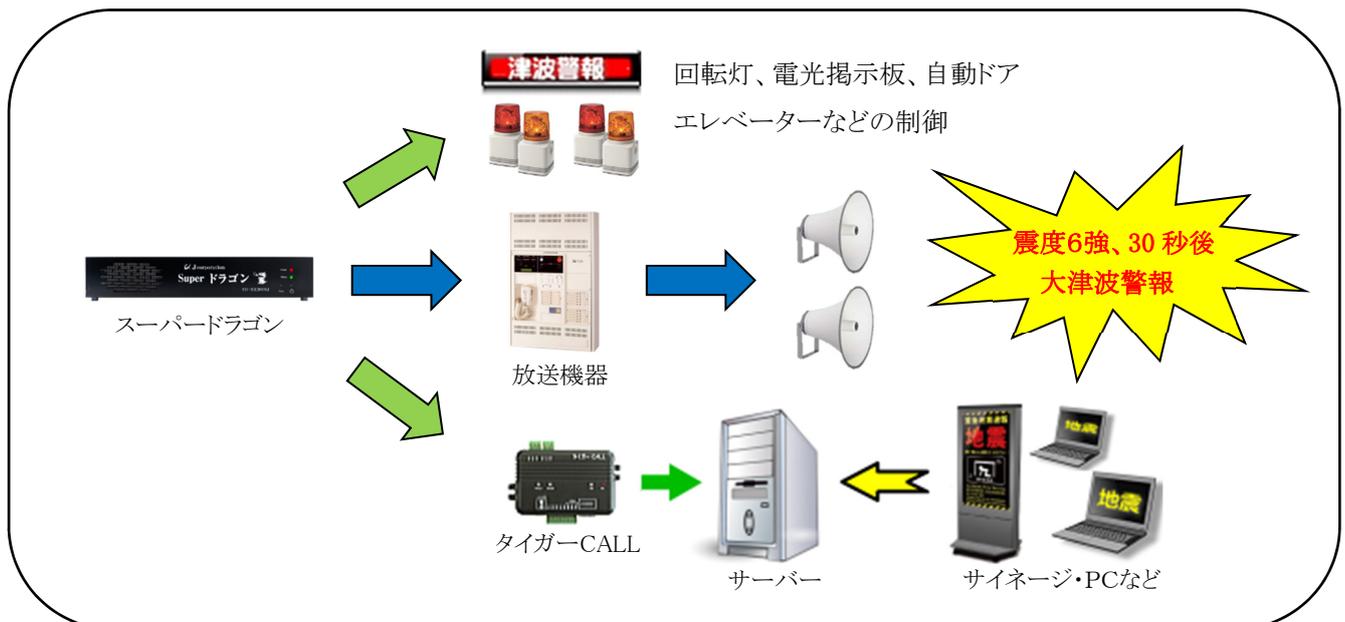
放送設備と連動 放送設備での一斉放送、外部機器の制御！



デジタルもぐらと連動 インターネット回線が切断されても、デジタルもぐらが震速報を受信！



サイネージ・PCと連動 タイガーCALLを利用し、デジタルサイネージやPCに警報を割り込み表示！



【主な仕様】

品名：スーパードラゴン 型番：SD-EX2000J
 本体サイズ：325mm(W)×61mm(H)×238mm(D)
 接点出力：無電圧ループ接点出力 5ch
 外部音声入力：RCA-モノラル 0dB/600Ω 不平衡

電源：DC24V 875mA ACアダプター使用（入力100V～240V）
 重量：2.4kg
 定格：DC60V 250mA AC100V 100mA
 外部音声出力：RCA-モノラル 0dB/600Ω 不平衡